



市民ベースの会

(質問者：落合 康之 議員)



福祉車両の貸し出しについて

問 施政方針にある福祉車両の貸し出しについての制度設計、古河市社会福祉協議会（以下、社協）に事業委託する内容について伺う。

答 車椅子使用者やその家族等の社会参加促進、外出支援のために、車椅子のまま乗車できる軽自動車1台を事前予約制とし、無料で貸し出す。マンパワーの

確保として、社協に委託し、ボランティアドライバー養成講座を実施予定である。利用者の意見に耳を傾け、必要に応じて改善を図る。

未来産業用地開発事業について

問 大堤地区の民間開発事業者の決定は計画通りに進んでいるのか。委員会の人選においては、多様な意見を持つ人も入れて、慎重な審議をしてほしいと思う。

答 現在は民間企業2社と条件整理を行っている。事業者の決定に向けた公募を円滑に行い、令和14年度中の操業を目指して事業を進めていく。委員の選定は検討中であり、条例に具体的な選定基準は細かくうたって

いないが、議員の意見も参考にしながら選定を進めていきたい。

ごみ処理一元化について

問 令和9年度から収集方法が大きく変更されるにあたり、令和8年度はどのように市民に説明する予定なのか。

答 有料指定ごみ袋およびプラスチックごみ分別収集への取り組みについて、対象の総和・三和地区の方に対し、自治組織および構成する行政区等を単位として説明会を行うほか、市SNS等にて周知広報活動を行う。



古河清風会

(質問者：印出 慎也 議員)



未来産業用地開発事業について

問 人口減少対策や地域活性化の起爆剤となるよう、着実に事業を進めることが大切と考えるが、①東山田・谷貝地区および②大堤地区の進捗状況を伺う。

答 ①既に立地が決定している4社においては、造成工事が完了し、建築工事に着手をしている。早い企業では4月から操業開始の予定である。②大堤地区

で商業、産業、文化の交流拠点を整備する民間事業者の募集要件を整理し、9月頃に募集を開始できるよう事業を進める。

高齢者等の買い物支援について

問 誰一人取り残さない社会の実現に向けて効果的な事業であると考えますが、高齢者等の買い物支援とは具体的にどのような取り組みなのか伺う。

答 民間事業者との協定により移動販売車を運行し、買い物支援とともに地域の見守り、支え合いの拠点づくりを強化する。現時点では公共施設や福祉施設、自治会館や公民館を販売場所とし、週に1回程度巡回することを検討している。

学校再編について

問 これからの古河市の最も大きな課題の一つで、受益者である児童生徒を中心に再編を進めていくべきだが、令和8年度以降どのように進めるのか伺う。

答 決定までには、地域との懇談会やパブリックコメント等を実施し、地域の声や子どもたち、保護者の意見も伺いながら再編計画を策定する。子どもたちがよかったと思える学校再編に全力で取り組む。



《その他の質問》

・市民協働「地域のみんなで古河（まち）をつくる」